

令和6年度 水道事業・工業用水道事業会計 決算見込(速報版)の概要について

1 経営収支概要

(1) 水道事業会計

浄水場設備等の修繕工事などにより経費が増加したものの、家庭用や旅館業等の水道使用量の増加に伴い給水収益が増加したことなどから、経常損益(106.9億円の黒字)は、前年度に比べ10.9億円の収支改善となる見込みです。また、当年度損益(106.9億円の黒字)についても、前年度に比べ11.7億円の収支改善となる見込みです。

(2) 工業用水道事業会計

給水施設受託工事が概ね完了したことなどにより、経常収益・経常費用ともに減少しましたが、経常損益(0.2億円の黒字)は、前年度と同程度となる見込みです。また、当年度損益(0.3億円の赤字)については、施設撤去工事などにかかる特別損失の減少により、前年度に比べ4.2億円の収支改善となる見込みです。

2 資金不足比率について

令和6年度決算においては、水道事業会計、工業用水道事業会計ともに、資金不足が生じる見込みはありません。

(注)「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行に伴い、公営企業会計については、会計ごとに資金不足比率を算定することとされ、平成20年度決算から、資金不足比率が経営健全化基準(20パーセント)以上となる場合は、経営健全化計画の策定が義務付けられました。

3 経営収支

【水道事業会計】

(単位：百万円)

	令和6年度 決算見込	令和5年度 決 算	差 引	増減率 (%)
経 常 収 益	64,134	62,115	2,019	3.3
うち給水収益(※)	58,506	53,051	5,454	10.3
うち料金減額相当額繰入	0	4,310	△ 4,310	皆減
うち受託工事収益	201	163	39	23.8
経 常 費 用	53,449	52,525	924	1.8
うち人件費	11,034	10,966	68	0.6
うち物件費	21,226	19,923	1,303	6.5
うち減価償却費	17,446	17,826	△ 380	△ 2.1
うち支払利息	1,246	1,403	△ 158	△ 11.2
経 常 損 益	10,686	9,591	1,095	
特 別 利 益	0	355	△ 355	皆減
特 別 損 失	0	432	△ 432	皆減
当 年 度 損 益	10,686	9,514	1,172	
累積剰余金(△累積欠損金)	20,199	0	20,199	
資金不足比率	—	—		
企業債残高	88,916	96,514	△ 7,598	△ 7.9

(注) 生活支援の施策にかかる減額分(一般会計より補填)を加えた令和5年度決算の実質給水収益は57,361百万円。(差引 1,145百万円)

【工業用水道事業会計】

(単位：百万円)

	令和6年度 決算見込	令和5年度 決 算	差 引	増減率 (%)
経 常 収 益	477	554	△ 77	△ 14.0
うち受託工事収益	1	73	△ 72	著減
うち繰延運営権対価収益	50	50	0	0.0
うち運営権者更新投資収益	3	1	2	著増
うち運営権設定関連収益	276	273	3	1.1
経 常 費 用	457	537	△ 80	△ 15.0
うち物件費	6	70	△ 64	著減
うち減価償却費	406	404	2	0.4
うち支払利息	2	2	△ 1	△ 37.0
経 常 損 益	20	17	3	
特 別 利 益	9	0	9	皆増
特 別 損 失	58	467	△ 409	△ 87.6
当 年 度 損 益	△ 29	△ 450	421	
累積剰余金(△累積欠損金)	394	374	20	
資金不足比率	—	—		
企業債残高	59	108	△ 49	△ 45.4

(注) 表内の計数は、全て四捨五入を行っており、また、差引き及び増減率(パーセント)については、円単位で計算しているため、表内計算で一致しないものがあります。